

桑野造船株式会社

〒520-0243 大津市堅田 1-21-2 TEL:077-573-8001 FAX:077-573-8002

URL: <http://www.k-boat.co.jp> E-mail: kuwano@k-boat.co.jp

よい会社になることは今、利益を上げるだけではなく会社と従業員が共に仕事を進めるに当たっての理念が明確に持てることが大切と考えました。そこでより具体的な表現にして今年度の会社目標を右欄のように掲げました。それぞれの項目において意図としたことは次の通りです。

1. 海外艇に負けない高級レース艇を作り、日本の選手の皆さんに支され、頼りにされる国産メーカーになること。
2. 世界では新しい構造の艇開発が進んでいる。新工法艇だけでなく、普及用艇開発でも世界のボート界の進化に歩調をあわせる。
3. 従業員の多くはボート経験者です。桑野造船は我が国のボートファミリーの一員として企業の枠にとらわれずにその役割を果たす。

桑野造船 会社目標

未来に向かって進化

- お客様にとって役に立つ桑野になるために -
- * ヨーロッパ艇を超える(性能・デザイン・価格)
- * 新分野へ挑戦(新技術開発・ニューローイング開拓)
- * 情報の共有(顧客との共有・社内共有で失敗に学ぶ)

スカル艇の直進性

1x・2x艇を真直ぐに漕ぎすすめるのはかなりの技術が必用です。艇が直進しない理由を考えてみました。複数の視点からチェックして効率の良いローイングを目指してしてください。スカル種目は艇と選手と選手間(2x)総てにおいてシンクロが最も重要な種目です。

[艇]

- * フィンが艇軸に対して曲がったり、左右に倒れている。障害物に当たったりしてフィンに対する外力で曲がる場合があります。
- * 艇の型が変形している。造船所の製造工程で艇型全体がゆがんでいたり、トップカテールの部分に変形していることは有名メーカーでも起こりうることです。
- * ハル修理が左右でアンバランスかどちらかに大きな傷跡がある。完全修理が必用です。

[漕手の技術とリギング]

- * ストロークの動作(タイミング)とフォースカーブ(力の入れパターン)が左右のサイド、または整調とパウで違っている。
- * 左右のハイト差が少ないために艇を傾けて漕いでいる。リガーワークスルーが左右で違い、ストローク角の軌跡範囲が違う。
- * オールのリギング(艇子比、ベンド、クラッチ部の当り、ブレード角度)が左右で不揃い。
- * 目標を注視していなかったり、航跡を監視していないため方向修正動作が遅れて蛇行を増幅している。

[水面のコンディション]

- * 横風がある。水流がある。横波がある。併走のコーチモータボートからの圧力波を受けている。

ローイングエルゴのメンテナンス

先日の関西エルゴ大会に各団体から提供されたエルゴの整備の悪さに驚きました。分らない、どうすれば良いの、どこに頼めば・・・が理由だと思います。エルゴのメンテナンス対応や多彩な機能の利用法は桑野造船にご相談いただければ対応させていただきます。

一人乗りカタマラン 新発売!

桑野造船では、コーチングに最適な1人乗り用のカタマランボートを企画・製造いたしました。省燃費の上、エンジンでの直接操舵ができるため、従来の大型カタマランと比べ回転性能が良好です。船型はボートのFISA型を開発したMr. K.B.Filter氏(独)に設計をお願いしまして、1人乗りの共通欠陥である横転事故対策もしました。別途、審判艇仕様への改造も承ります。

構造 FRP(ケブラー・ガラス・カーボン) 全長 434cm 最大幅 177.5cm 重量 90kg
エンジン 5馬力/4サイクル(8馬力まで搭載可能) **船検不要**

後部にレスキュー(補助)シートを備えていますので、緊急時の対応も可能です。

オプションで、コーチングに便利なハンズフリーマイク・スピーカーシステムをお付けできます。



KUWANO からのお知らせ

A1モデルの規格艇 販売中!

A1モデルの高級艇はFISA船型なので、リガーを換え、重りを搭載するだけで規格艇レースで戦える艇になります。1艇でどのレガッタでも使える艇が持てることとなります。なお、規格艇はL板式リガー、レース艇は一体型リガーが規定です。

アテネ艇がさらにパワーアップ!

昨年のアテネオリンピックに向けて開発したアテネ艇が、空力対策を施したり、いろいろな改良を加えさらに進化しました!

エキスパートオール本格生産・販売開始! ホームページからも購入のお申し込みできます。

シャフトの直径を細くすることにより、空気抵抗を30%減らしたエキスパートオールをいよいよ本格生産・販売いたします。2000mで1艇身のゲインを得るエキスパートオールをぜひお試しください。*1年間の保障保険・オールカバー付

メンテナンス講習会は締め切りました。

たくさんの問い合わせをいただきましたが、定員に達したため締め切らせていただきました。ありがとうございました。

BOAT TIMESの配信停止をご希望される方は、お手数ですがFAX (077-573-8002)又はE-Mail (kuwano@k-boat.co.jp)で当社までご連絡下さい。また、ご意見・ご感想などもお待ちしております。

お手数ですがボート関係者へお渡しをお願いいたします。